

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速実験炉原子炉施設の
避難用の照明の更新に係る行政相談

2. 日時：令和3年3月9日（火）10：05～10：15

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室
※本ヒアリングは、テレビ会議システムで実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

菅原企画調査官、有吉上席安全審査官、片野安全審査官、佐々木技術
参与、山田係員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 担当者
大洗研究所 高速実験炉部 部長 他11名

5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）
から、資料1に基づき、高速実験炉「常陽」において、高経年化対応の予防
保全として、原子炉建物及び原子炉附属建物並びに主冷却機建物における
安全避難通路に係る避難用照明の更新計画についての行政相談があった。

(2) 原子力規制庁から、以下の点を伝えた。

○高経年化対応の予防保全として避難用照明を更新する計画であることは了
解した。更新後の避難用照明の基準適合性については、今後、新規制基準適
合性審査の中で確認していく。

(3) 原子力機構から、承知した旨の返答があった。

6. 配布資料

資料1：「常陽」安全避難通路に係る避難用の照明の更新について